

# 飼料用米「夢あおば」種子栽培ごよみ

| 時期    | 5月                   |     |     | 6月    |       |   | 7月    |   |       | 8月    |      |     | 9月    |      |   |      |  |      |     |    |
|-------|----------------------|-----|-----|-------|-------|---|-------|---|-------|-------|------|-----|-------|------|---|------|--|------|-----|----|
|       | 上                    | 中   | 下   | 上     | 中     | 下 | 上     | 中 | 下     | 上     | 中    | 下   | 上     | 中    | 下 |      |  |      |     |    |
| 主な作業  | 立札設置                 | 代かき | 代かき | 田植え   | 除草剤散布 |   | 異株抜き  |   | 幼穂形成期 |       | 異株抜き | 出穂期 | 異株抜き  | ほ場確認 |   | ほ場確認 |  | 異株抜き | 成熟期 | 収穫 |
| 水管理   | 浅水                   |     |     | 中干し   |       |   | 間断かん水 |   |       | 落水    |      |     |       |      |   |      |  |      |     |    |
| 病害虫防除 | イネミズゾウムシ<br>イネドロオウムシ |     |     | 葉いもち病 |       |   | 稲こうじ病 |   |       | 穂いもち病 |      |     | カメムシ類 |      |   |      |  |      |     |    |
|       |                      |     |     | 紋枯れ病  |       |   | 籾枯細菌病 |   |       |       |      |     |       |      |   |      |  |      |     |    |



## 【優良種子とは】

「純粋性」「健全性」「良質」を兼ね備えた種子

- 異品種や異種穀粒、夾雑物が混入していない。
- 発芽率、発芽勢、発芽揃が良い。
- 種子伝染性病害(ばか苗病など)に侵されていない。
- 外観に優れ、粒の充実がよく発芽後の生育が優れる。

## 【「夢あおば」品種特性】

- 熟期はコシヒカリより早生
- 乾物収量・玄米重量が多い
- 縞葉枯病抵抗性をもつ
- 穂発芽が懸念されるため、刈り取り時期に注意
- いもち病に強い

| 品種名  | 移植日   | 出穂日   | 成熟期    | 稈長<br>cm | 粗玄米重<br>kg/10a | 倒伏<br>0-5 |
|------|-------|-------|--------|----------|----------------|-----------|
| 夢あおば | 5月13日 | 7月27日 | 9月15日  | 86       | 822            | 0         |
|      | 6月13日 | 8月23日 | 10月14日 | 101      | 562            | 1.7       |

※農業試験場(宇都宮市)における試験結果(H27)(施肥量 窒素12kg/10a)

## 【栽培について】

### ● 播種量

- ・ 10aあたり3~3.5kg (粒が大きいので、コシヒカリより多い)
- ・ 1箱あたり乾籾で140g~190g (催芽籾で172g~234g)
- ・ イネばか苗病の徹底防除のため、テクリードCフロアブルなどにより必ず種子消毒を実施する。

### ● 施肥

- ・ 施肥量は「あさひの夢」に準じる。
- ・ 倒伏させない(なびかせない)よう施肥は穂肥重視(目安量・基肥 4~5kg+穂肥 2~3kg/10a)

### ● 田植え

- ・ 5月中旬(県北)下旬(県南)までに田植を行う。遅れると倒伏が増え、収量が低下しやすくなる。

### ● 収穫

- ・ コンバインへの負担が大きいため、走行速度を控えるか、刈り取り条数を減らすなど、生育状況に合わせて作業する。
- ・ 水分は25%以下、帯緑色籾率は3%程度が収穫適期である。(早刈り、刈り遅れは品質を低下させるので注意する)

### ● 漏生対策

- ・ 植え付けほ場は、昨年も「夢あおば」を作付けまたは、水稻以外の作物を作付けしたほ場が望ましい。
- ・ 代かきは2回、1回目と2回目は7日以上間隔をあける。
- ・ 最後の植代かきの後、なるべく早く田植を行う。
- ・ 前年のこぼれ籾から発生する漏生籾を防除する。
- ・ 前年に「夢あおば」以外の品種を栽培した水田では、プレチラクロールを含む除草剤(エリジャン・ソルネット等)を移植時等に散布するほか、移植10日後のボデーガード、24日後のナイスミドルなど、漏生籾の出芽期に効果がある除草剤を3回散布すると、効果的に漏生籾を減らすことができる。

### ● 異株除去

- ・ 漏生籾抜き: 田植の40日後から条間・株間に生えている漏生籾を除去。この頃までであれば草丈が低いので良く見え、漏生籾を見つけやすい。
- ・ 出穂始め: 異常に出穂が早い株を除去。出穂の早い株、稈長の低い株は出穂期以降になると判りづらくなる。
- ・ 穂揃い期: 出穂の遅い株、稈長・穂形・芒の色等が異なる混種、変種、ストライプ葉等を除去
- ・ 成熟期前: 成熟の早い株・遅い株、稈長・穂形・芒の色等が異なる混種、不稔株、変種等を除去

**品種を転換したほ場の漏生対策を徹底しましょう!** (公社)栃木県米麦改良協会・JA全農とちぎ・栃木県